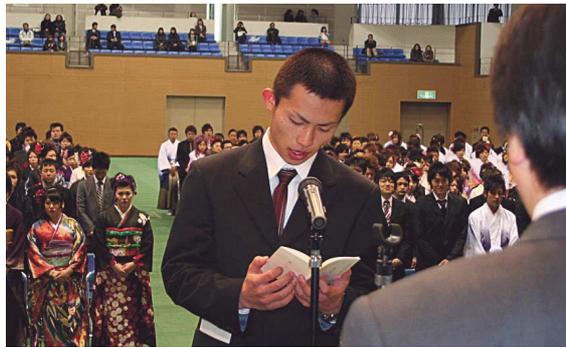


成年証書を受け取る6町の代表者



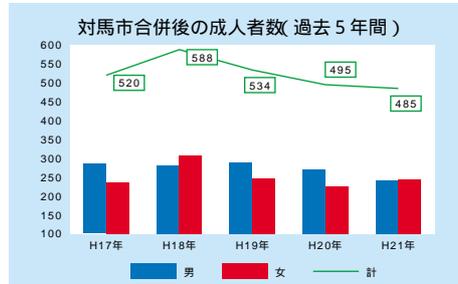
誓いのことを述べる岡田さん



# 新たなる門出を迎え輝く若人

対馬のDNA 485名が今、動き出す

## 対馬市成人式



新成人の門出を祝う対馬市成人式が1月11日、シャインドームみねで開催されました。今年成人式を迎えたのは、昭和63年4月2日から平成へと20歳が移り変わる、記念すべき年となりました。式には男性178名、女性188名、合わせて366名が出席し、真新しいスーツや羽織袴、色鮮やかな着物で着飾った新成人たちが、大人への第一歩を踏み出しました。

旧友と久しぶりの対面に喜ぶ場面も見られ、おしゃべりや記念撮影など楽しんでいました。



バッチリ撮ってね



お母さんたちも今日はカメラマン



新成人を代表し上県町の岡田さんが「訪れるであろう困難に真摯に向かい合い、自らの意思で選んだ道を信じ、21世紀の担い手として飛躍していくことを誓います」と、力強く誓いのことを述べ、会場は若いエネルギーで満ち溢れていました。

午後1時から始まった式典では、財部市長が各町代表の新成人6人に成年証書を手渡した後、皆さんを取り巻く状況は厳しいが、必ず2度、3度とチャンスが訪れる。その時に備え、日々の精進を怠らないように、これから共に島を支え合う同志としてその行動に期待しています」と式辞を述べました。



田中理沙 (学生)

余裕を持って行動したい。看護師になって将来は対馬で働きたい。自然が豊かな島であってほしい。対馬が栄えるようにしっかりとした施策をして欲しい。島を大切にしてもらいたい。



國分祐太郎 (美容師)

これから頑張っていかななくてはいけない。一人前の美容師になり、将来は独立をしたい。若い人が戻ってこれる島になって欲しい。対馬の海を大切に守って欲しい。みんなが働ける場所をもっと増やして下さい。



浅野友梨 (学生)

実感はないけど大人としてのスタートラインに立ちました。管理栄養士になって地元に戻って働きたい。若者が帰って来れるような島になって欲しい。韓国との交流も良いけど、他県との交流も盛んにして欲しい。

# 新成人に聞く

成人になった感想  
将来の目標  
こんな対馬になって欲しい  
国や行政に対してひとこと



古藤鉄平 (学生)

しっかりしなくてはならない。中学校の教諭 人口流出に歯止めをかけ、若者で賑わう島になってほしい。対馬の魅力を生土の人たちに知ってもらえるようなPRを展開して下さい。



神宮未来 (学生)

もう少し大人っぽになりたい。4月から保育士になったので立派な保育士になるよう頑張ります。みんなが元気で笑顔の絶えない島になって欲しい。国が対馬の状況に目を向けて真剣に取り組んで欲しい。



伊原悠介 (学生)

まだまだ子供、これから着実に大人へと歩みたい。金融系の仕事に就職したい。市になって色々問題があるが、もっと賑やかな島になれば。若者の島離れを防ぐため、働く場の確保と遊べる施設を作って欲しい。